

## 審 議 ( 会 議 ) 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県災害医療対策会議
開催日時	令和6年3月19日(火) 18:00~19:00
開催場所	神奈川県総合医療会館(横浜市中区富士見町3-1)・ZOOM
(役職名) 出席者	<p>恵比須 享(神奈川県医師会副会長)【会長】  田村 哲郎(神奈川県医師会理事(神奈川県災害医療コーディネーター))  三角 隆彦(神奈川県病院協会常任理事)  神部 哲哉(神奈川県歯科医師会常務理事)  後藤 知良(神奈川県薬剤師会副会長)  長場 直子(神奈川県看護協会専務理事)  久保田 毅(神奈川県医師会理事(神奈川県災害医療コーディネーター))  竹内 一郎(横浜市立大学救急医学主任教授(神奈川県災害医療コーディネーター))【副会長】  海野 信也(北里大学病院周産母子成育医療センター長(神奈川県災害時小児周産期リエゾン))  石郷岡 清(日本赤十字社神奈川県支部事業部救護課長)  小倉 浩満(第三管区海上保安本部警備救難部環境防災課長)  (代理 小郷 宏和(専門官))  徳原 太朗(神奈川県警察本部警備部危機管理対策課長)  (代理 地名 佑一(巡查部長))  原田 俊一(神奈川県消防長会会長(川崎市消防局長))  (代理 林 裕二(川崎市消防局警防部救急課長))  笹尾 洋介(横浜市医療局医療政策課救急・災害医療担当課長)  (代理 山本 康明(担当係長))  畑 泰寿(川崎市健康福祉局保健医療政策部災害医療対策担当課長)  小野 欽也(川崎市健康福祉局保健医療政策部DMAT調整担当・担当課長)  井上 美紀(相模原市健康福祉局保健衛生部医療政策課・参事兼課長)  笠原 利幸(横須賀市民生局健康部健康総務課長)  関根 達郎(藤沢市保健所地域医療推進課参事)  臼井 高之(茅ヶ崎市保健所地域保健課長)  廣末 治(神奈川県都市衛生行政協議会代表(逗子市福祉部次長兼国保健康課長))</p>
次回開催予定日	未定

<p>問い合わせ先</p>	<p>健康医療局保健医療部健康危機・感染症対策課  災害医療グループ 奈良  電話番号 045 (210) 4634 (直通)  ファックス番号 045 (633) 3770</p>
<p>会議の議事</p>	<p>1 開会  2 議事等  (1) 議題  ア 令和5年度事業報告と令和6年度年間スケジュール(案)  (2) 報告事項  ア 令和5年度関東ブロック DMAT 訓練  (ア) DMAT からの報告  (イ) DPAT からの報告  (ウ) 災害時小児周産期リエゾンからの報告  イ 「令和6年能登半島地震」被災地等への保健医療福祉に係る神奈川県  の支援  ウ 第8次保健医療計画の改定  エ 令和6年度大規模地震時医療活動訓練  オ 保健医療救護計画の改定  カ 災害拠点病院の評価制度  キ DMAT インストラクター養成補助金  ク かながわ DPAT 運営要綱・活動要領の改正  3 その他  4 閉会</p> <p>&lt;開会&gt;  (阿南理事)</p> <p>○ 神奈川県理事の阿南でございます。年度の締めではありますが、今年  はショッキングな事件がお正月から立て続けに発生しまして、やはり  災害はいつくるかわからない。準備をしたつもりでも万全ではない。  毎回災害のたびに新しい課題が出てきて、我々は頭を悩ませながら対  処をしていく。これの繰り返しののだなということを改めて実感した  次第です。</p> <p>○ 今日も神奈川県の出組の1年間の振り返りと、今後どのように災害  対応に係る課題に立ち向かっていくのかということについて、一定程  度方向付ける会議になろうかと思えます。この1年の振り返りをしつ  つ皆さんと議論できればと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします  します。</p> <p>(事務局)</p> <p>○ ありがとうございます。それでは恵比須会長、これより議事の進  行をお願いいたします。</p>

<議事等>

(恵比須会長)

- この会議は、大規模災害発生時の医療救護体制につきまして、関係機関の皆様と災害時の医療救護のあり方を討議していただく重要な会議であります。皆様方から忌憚のないご意見をいただきながら進めて参りたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それではこれより議事に入らせていただきます。議題ア「令和5年度事業報告と令和6年度年間スケジュール(案)」について事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

(議題ア「令和5年度事業報告と令和6年度年間スケジュール(案)」について説明)

(恵比須会長)

- はい、説明ありがとうございました。ただいまの議題につきまして委員の皆様、ご意見やご質問等ございましたらお願いいたします。

(発言なし)

- よろしいでしょうか。それでは事務局からの説明のとおり、来年度事業を実施することとしてよいですか。

(各委員うなずく)

- 異議がないようですので承認することといたします。  
次に報告事項に移ります。件数が多いですが、まずは「ア 令和5年度関東ブロック DMAT 訓練」について、報告をお願いします。

(事務局・海野委員)

(報告事項ア「令和5年度関東ブロック DMAT 訓練」について説明)

(恵比須会長)

- 説明ありがとうございました。ただいまの報告事項につきまして、まずは、災害医療コーディネーター会議会長の竹内先生から補足等がございましたらコメントをお願いします。

(竹内副会長)

- 特に補足はありませんが、やはり課題は受援だと思います。支援はある程度しっかりとできると思うのですが、受援の場合に我々がどうするのか。なかなか想定どおりに進まないと思いますが、日頃から覚

悟を持って考えておく必要があります。

- 昨日横浜市の会議にも出席したのですが、神奈川県にとって最も難しい課題は県と政令市の役割分担だと思います。神奈川県内の政令市は法律の改正で「救助実施市」となっているので救助はそれぞれ主体的にできますが、医療は引き続き県が中心ということになっています。そうした中で、例えば横浜市は 370 万人の人口を抱えていますが、どうやって県と役割分担をし、かつ県がとりまとめていくか。そして横浜市、川崎市、相模原市もカウンターパートとしてどう備えるか。実働を考えると大きな課題だと思います。

(恵比須会長)

- ありがとうございます。続きまして阿南先生、補足等ございましたらお願いいたします。

(阿南先生)

- 令和 5 年度関東ブロック DMAT 訓練においては 2,000 人を超える方にご参加いただきました。病院も 40 病院、また、様々なチームにご参加いただき本当にありがとうございます。
- かなり大規模な訓練を実施したのですが、1 日目は関東大震災から 100 年目ということもあり地震をテーマに訓練を行いました。今回能登半島地震もありましたが、やはり神奈川の大きな課題は人口が多いということだと思います。横浜、川崎のような大都市・人口密集地がある。そのうえ県全体では 920 万人いる。これだけの数の支援の求めがあったときに一体何ができるのか。相当厳しい状況になるということを感じた機会だったのでないかと思います。
- 病院の規模で言うと、能登の数十倍神奈川県はあるのですよね。能登でも震災後は大変な状況があって全国からの支援で何とかあったのですが、その数十倍です。もちろん神奈川が大きなダメージを負うときは東京なども同じような状況でしょうから、100 倍を超えてしまうのかもしれない。
- 2 日目は新しい試みとして富士山噴火に対応した訓練を実施しました。神奈川県は風向きに関わらず降灰が起こってしまうため、BCP の長期化という新たな課題を見える化できたよい機会だったと思います。この富士山噴火に対する課題などは厚生労働科学研究の中でまとめて出しました。汎用性のあることとして、皆で考える機会にできればと思います。

(恵比須会長)

- はい、ありがとうございます。続きまして委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

(発言なし)

- それでは続きまして報告事項イ「『令和6年能登半島地震』被災地等への保健医療福祉に係る神奈川県への支援」について事務局から報告をお願いします。

(事務局)

(報告事項イ「『令和6年能登半島地震』被災地等への保健医療福祉に係る神奈川県への支援」について説明)

(恵比須会長)

- 説明ありがとうございました。ただいまの報告事項につきましても、災害医療コーディネーター会議会長の竹内先生から補足等がございましたらコメントをお願いします。

(竹内副会長)

- 事務局からの説明であったとおり、今回の能登半島地震の対応においては DMAT や JMAT など様々なチーム・職種の派遣がありました。神奈川県で実際に災害があったときに今回の対応が活きるのではないかと思います。
- やはり日本の高齢化の縮図と言いますか、今回の能登半島地震では被災地においても高齢者や福祉の問題をきちんと考える必要がある。そういった課題を突き付けられたのだと感じています。災害医療コーディネーターとしても急性期医療をメインとしていますが、加えて慢性期のことや介護の問題もしっかり取り組む必要があると思います。

(恵比須会長)

- ありがとうございます。続きまして阿南先生、補足等ございましたらお願いいたします。

(阿南先生)

- 能登半島地震の被災地では大変厳しい状況になっていまして、まずは現地に行っていた皆さんに感謝申し上げます。DMAT も全国で1,000 チーム以上が派遣されたのですが、それ以外にも JMAT、日赤救護班、DPAT など本当にたくさんのチームが現地で活動してくれています。さらに特徴的だったのは DHEAT など保健師の派遣について非常に早期から要請があり、これも県や政令市から多くの方が派遣されました。そういった意味では、ここ20年くらいで蓄積された災害医療のノウハウがかなり活かされたケースだったと感じています。
- 一方でかなり厳しい現実も見えていまして、先ほど竹内先生がおっしゃったように我が国はこれまで医療と福祉を分離するような施策を

取ってきましたが、やはり分離することはできない。これからの高齢化社会を乗り越えるためには医療と福祉が一体にならないといけないと改めて感じました。

高齢者についていうと、さきほど私は病院の話をしました。神奈川県の高齢化率は能登よりもかなり低いです。能登が50%に対して神奈川県は25%ですから。しかし、絶対数で言うと比較にならないくらい神奈川県の方が多いいです。それだけの高齢者を捌けるのかというところがかなり厳しいだろうと思うのですね。

- そのうえで我々が倫理観に立ち返って考えるべきは、これまでは「生きる」「死ぬ」の2項対立で物事を考えがちだったのですが、今後はそれでは済まされないのだと思います。「死なないように生かせばよい」という単純な話ではないのです。高齢者が多い状況では「死ななかつたからよかったね」以外の解答を見つける必要がある。そういったシビアな、というか新たな災害医療の考え方をする必要があるのだと思います。

(恵比須会長)

- はい、ありがとうございます。続きまして委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

(発言なし)

- それでは続きまして報告事項ウ「第8次保健医療計画の改定」について事務局から報告をお願いします。

(事務局)

(報告事項ウ「第8次保健医療計画の改定」について説明)

(恵比須会長)

- はい。報告ありがとうございます。ただいまの報告事項につきまして、委員の皆様、ご意見やご質問等ございましたらお願いいたします。

(発言なし)

- それでは続きまして、エ「令和6年度大規模地震時医療活動訓練」オ「保健医療救護計画の改定」について、事務局からまとめて報告をお願いします。

(事務局)  
(報告事項エ「令和6年度大規模地震時医療活動訓練」  
報告事項オ「保健医療救護計画の改定」について説明)

(恵比須会長)  
○ はい。報告ありがとうございました。ただいまの報告事項につきまして、委員の皆様、ご意見やご質問等ございましたらよろしくお願ひいたします。

(発言なし)  
○ 続きまして、カ「災害拠点病院の評価制度」キ「DMAT インストラクター養成補助金」ク「かながわ DPAT 運営要綱・活動要領の改正」について、事務局からまとめて報告をお願いします。

(事務局)  
(報告事項カ「災害拠点病院の評価制度」  
報告事項キ「DMAT インストラクター養成補助金」  
報告事項ク「かながわ DPAT 運営要綱・活動要領の改正」について説明)

(恵比須会長)  
○ はい。報告ありがとうございました。ただいまの報告事項につきまして、委員の皆様、ご意見やご質問等ございましたらよろしくお願ひいたします。

(発言なし)  
○ それでは、報告事項につきましては、これで終了とさせていただきます。  
続きまして、その他として委員の皆様、何かご意見等ございますでしょうか。

(事務局)  
○ 事務局から新たな災害支援ナースについて説明させていただきます。  
(参考資料により、新たな災害支援ナースについて説明)

(恵比須会長)  
○ ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、委員の皆様、ご意見やご質問等ございましたらよろしくお願ひいたします。

(発言なし)

	<p>(恵比須会長)</p> <p>○ それでは、その他に委員の皆様、何かご意見等ございますでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>○ それではこれで本日の議題等は全て終わりましたので、進行を事務局にお返しします。</p> <p>(事務局)</p> <p>○ 委員の皆様、長時間にわたりまして会議にご参加いただきましてありがとうございました。今後も神奈川県災害医療体制の充実に努めて参りますので、引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>それではこれもちまして今回の会議を終了させていただきます。本日は誠に御疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>会 議 資 料</p>	<p>資料 1 令和 5 年度事業報告と令和 6 年度年間スケジュール(案)</p> <p>資料 2 関東ブロック DMAT 訓練について (DMAT からの報告)</p> <p>資料 3 関東ブロック DMAT 訓練について (DPAT からの報告)</p> <p>資料 4 関東ブロック DMAT 訓練について (災害時小児周産期リエゾンからの報告)</p> <p>資料 5 「令和 6 年能登半島地震」被災地等への保健医療福祉に係る神奈川県の支援</p> <p>資料 6 - 1 第 8 次保健医療計画の改定</p> <p>資料 6 - 2 第 8 次保健医療計画 (原稿)</p> <p>資料 6 - 3 第 8 次保健医療計画 (ロジックモデル)</p> <p>資料 7 令和 6 年度大規模地震時医療活動訓練</p> <p>資料 8 保健医療救護計画の改定</p> <p>資料 9 災害拠点病院の評価制度</p> <p>資料 1 0 DMAT インストラクター養成補助金</p> <p>資料 1 1 かながわ DPAT 運営要綱・活動要領の改正</p> <p>参考資料 新たな災害支援ナースに関するご説明</p>